

金沢大学では、2018（平成30）年4月に人間社会学域及び理工学域の改組を構想中であり、改組に関する募集人員及び入学者選抜方法等については、現在検討中です。

平成30年度 金沢大学入学者選抜については、現時点（平成29年4月）での内容であり、今後、変更する場合があります。

平成30年度 金沢大学入学者選抜について

平成30年度入学者選抜についての変更は下記のとおりです。（注：推薦入試Ⅰは大学入試センター試験を課さない選抜を、推薦入試Ⅱは大学入試センター試験を課す選抜を表します。）

1 募集について

- ① 理工学域の改組について
- ② 理工学域の入試区分について
- ③ 「文系後期一括、理系後期一括」入試について
- ④ 人間社会学域人文学類人間科学コース（専門分野：哲学・人間学）、歴史文化学コース（専門分野：日本史学、東洋史学、西洋史学）、言語文化学コース（専門分野：中国語学中国文学） 推薦入試Ⅰの募集取りやめ
- ⑤ 人間社会学域経済学類の一般入試（後期日程）の募集取りやめ
- ⑥ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試の変更（推薦入試Ⅱ（石川県教員希望枠と専修枠）に変更）
- ⑦ 人間社会学域地域創造学類の推薦入試の変更（健康スポーツコースの廃止と推薦入試Ⅱへの変更）
- ⑧ 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試の変更（薬学類と創薬科学類を分けて募集）
- ⑨ 医薬保健学域保健学類理学療法専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

2 募集人員について

3 教科・科目等について

<文系後期一括、理系後期一括入試>

- ① 「文系後期一括、理系後期一括」入試で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点

<英語外部試験の利用>

- ② 大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について

<人間社会学域法学類>

- ③ 一般入試（前期日程L方式）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）
- ④ 一般入試（前期日程M方式）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）
- ⑤ 一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）
- ⑥ 推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）

<人間社会学域経済学類>

- ⑦ 一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点の変更（外国語）と個別学力検査等で課す科目と配点の変更（国語の取り止めとそれに伴う配点変更）

<人間社会学域学校教育学類>

- ⑧ 一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目の変更（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）
- ⑨ 推薦入試Ⅱの「石川県教員希望枠」の推薦要件及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑩ 推薦入試Ⅱの専修枠「国語・社会科・英語教育専修」の推薦要件の変更及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑪ 推薦入試Ⅱの専修枠「数学・理科教育専修」の推薦要件の変更及びセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑫ 特別支援教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「特別支援教育専修」に変更
- ⑬ 美術教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「美術教育専修」に変更
- ⑭ 保健体育専修及び家政教育専修の推薦入試Ⅱを専修枠「保健体育専修」及び「家政教育専修」として大学入試センター試験の課す科目の変更（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）

<人間社会学域地域創造学類>

- ⑮ 一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目変更（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）及び配点変更（外国語）
- ⑯ 一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の科目の変更（「世界史A」、「日本史A」、「地理A」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用）
- ⑰ 福祉マネジメントコースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更
- ⑱ 環境共生コースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

<人間社会学域国際学類>

- ⑲ 推薦入試Ⅰの第1次選考の英語外部試験の種類の追加変更
- ⑳ 帰国子女入試の第1次選考の英語外部試験の種類の追加変更

<理工学域>

- ㉑ 一般入試（前期日程，後期日程）で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ㉒ 国際バカロレア入試の出願資格及び選抜方法
- ㉓ 帰国子女入試の選抜方法
- ㉔ 私費外国人留学生入試の選抜日程

<医薬保健学域医学類>

㉕ 推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠（石川県枠・富山県枠）〕の推薦要件の変更（成績が「A段階以上」を「㊤段階」に変更）

<医薬保健学域薬学類・創薬科学類>

㉖ AO入試の変更（選抜方法と日程）

<医薬保健学域保健学類>

㉗ 放射線技術科学専攻の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点変更（国語と理科）及び個別学力検査等で課す科目と配点の変更（数学の新設，理科の「生物基礎」・「生物」を取り止め）

㉘ 放射線技術科学専攻の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点変更（国語と理科）

㉙ 放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点変更（国語と理科）

㉚ 検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点の変更（数学の新設）

㉛ 理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

㉜ 私費外国人留学生入試の選抜方法（実施教科・科目及び配点等）の変更

1 募集について

- ① 理工学域について以下のとおり改組の予定があります。**(現在構想中であり、内容変更がある場合があります。)**

平成 29 年度	平成 30 年度 (予定)
数物科学類	数物科学類
物質化学類	物質化学類
機械工学類	機械工学類
電子情報学類	フロンティア工学類 (仮称)
環境デザイン学類	電子情報通信学類 (仮称)
自然システム学類	地球社会基盤学類 (仮称)
	生命理工学類 (仮称)



- ② 理工学域の一般入試及び推薦入試の実施は以下のとおりです。(入試教科・科目等は別に示します。)

(現在構想中であり、内容変更がある場合があります。)

学類	選抜方法等	前期日程	「理系後期一括」入試	後期日程	推薦入試
数物科学類		○	○	○	—
物質化学類		○		○	—
機械工学類		○		—	—
フロンティア工学類 (仮称)		(3学類前期一括入試*)		—	—
電子情報通信学類 (仮称)				—	—
地球社会基盤学類 (仮称)		○		○	—
生命理工学類 (仮称)		○		—	—

*「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試」の略称

③ 「文系後期一括、理系後期一括」入試の概要は以下のとおりです。（入試教科・科目等は別に示します。）
 <学域・学類への移行について> **（現在構想中であり、内容変更がある場合があります。）**

入試 一括入試 (後期)	1年次の所属	2年次からの所属	
		学域	学 類
文系 (募集人員 62 名)	国際基幹教育院 総合教育部 	人間社会学域	人文学類
			法学類
			経済学類
			学校教育学類
			地域創造学類
			国際学類
理系 (募集人員 82 名)	国際基幹教育院 総合教育部 	理工学域	数物科学類
			物質化学類
			機械工学類
			フロンティア工学類 (仮称)
			電子情報通信学類 (仮称)
			地球社会基盤学類 (仮称)
			生命理工学類 (仮称)
		医薬保健学域	医学類
			創薬科学類
			保健学類

④ 人間社会学域人文学類人間科学コース（専門分野：哲学・人間学），歴史文化学コース（専門分野：日本史学，東洋史学，西洋史学），言語文化学コース（専門分野：中国語学中国文学）において推薦入試Ⅰの募集を取りやめます。

⑤ 人間社会学域経済学類の一般入試（後期日程）の募集を取りやめます。

⑥ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試について「石川県教員希望枠」及び「専修枠」を設けるとともに，以下のとおり変更します。（「石川県教員希望枠」及び「専修枠」の推薦要件，入試教科・科目等は別に示します。）

平成 29 年度		平成 30 年度			
推薦入試Ⅰ	特別支援教育専修 美術教育専修	推薦入試Ⅱ	石川県 教員希 望枠	専修枠	国語・社会科・英語教育専修 数学・理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家政教育専修 特別支援教育専修
推薦入試Ⅱ	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 保健体育専修 家政教育専修 英語教育専修				

⑦ 人間社会学域地域創造学類の推薦入試について、以下のとおり変更します。

(推薦要件, 入試教科・科目等は別に示します。健康スポーツコースは廃止の予定です。)

平成 29 年度		平成 30 年度	
推薦入試 I	福祉マネジメントコース 環境共生コース	推薦入試 II	福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース
推薦入試 II	地域プランニングコース 健康スポーツコース		

⑧ 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試について、薬学類（6年制）と創薬科学類（4年制）での一括の募集から、薬学類と創薬科学類にそれぞれ分けて募集することに変更するとともに、選抜方法等を変更します。（出願資格, 出願基準, 選抜方法, 日程等は別に示します。）

⑨ 医薬保健学域保健学類理学療法学専攻の推薦入試 I を推薦入試 II に変更します。（推薦要件, 入試教科・科目等は別に示します。）

2 募集人員について

- ① 「文系後期一括、理系後期一括」入試を導入する。
- ② 「理工3学類（機械工学類，フロンティア工学類（仮称），電子情報通信学類（仮称）前期一括入試）」を導入する。
- ③ 入学定員，募集人員（一般入試，推薦入試，AO入試）を変更する。

【平成29年度】

学域・学類等	入学定員	募集人員							
		一般入試		推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	AO入試		
		前期日程	後期日程						
人間社会学域	人文学類	145	105	35	推薦入試Ⅰ 人間科学コース 5 専門分野:哲学・人間学 1 歴史文化学コース 専門分野:日本史学 1 専門分野:東洋史学 1 専門分野:西洋史学 1 言語文化学コース 専門分野:中国語学中国文学 1	若干名	若干名	—	
	法学類	170	L方式 125 M方式 75 50	30	推薦入試Ⅱ 15	若干名	若干名	—	
	経済学類	185	150	25	推薦入試Ⅰ 10	若干名	若干名	—	
	学校教育学類	100	64	—	推薦入試Ⅰ 36 特別支援教育専修 5 美術教育専修 3 推薦入試Ⅱ 28 国語教育専修 3 社会科教育専修 3 数学教育専修 3 理科教育専修 4 音楽教育専修 4 保健体育専修 5 家政教育専修 3 英語教育専修 3	—	若干名	—	
	地域創造学類	80	50	10	推薦入試Ⅰ 20 福祉マネジメントコース 8 環境共生コース 4 推薦入試Ⅱ 12 地域プランニングコース 4 健康スポーツコース 8	若干名	若干名	—	
	国際学類	70	40	15	推薦入試Ⅰ 15	若干名	若干名	—	
	計	750	534	115	推薦入試Ⅰ 101 推薦入試Ⅱ 46 55	—	—	—	
理工学域	数物科学類	84	69	15	—	若干名	若干名	—	
	物質化学類	81	61	20	—	若干名	若干名	—	
	機械工学類	140	120	20	—	若干名	若干名	—	
	電子情報学類	108	86	22	—	若干名	若干名	—	
	環境デザイン学類	74	64	10	—	若干名	若干名	—	
	自然システム学類	102	82	13	推薦入試Ⅰ 7	若干名	若干名	—	
	計	589	482	100	推薦入試Ⅰ 7	—	—	—	
医薬保健学域	医学類(6年制)	112	85	—	推薦入試Ⅱ 27 一般枠 15 特別枠 12	若干名	—	—	
	薬学類(6年制)	35	—	—	—	—	—	—	
	創薬科学類	40	70	—	—	若干名	若干名	5	
	保健学類	看護学専攻	80	55	10	推薦入試Ⅰ 15	若干名	若干名	—
		放射線技術科学専攻	40	29	5	推薦入試Ⅱ 6	若干名	若干名	—
		検査技術科学専攻	40	29	5	推薦入試Ⅱ 6	若干名	若干名	—
		理学療法学専攻	20	15	—	推薦入試Ⅰ 5	若干名	若干名	—
		作業療法学専攻	20	15	—	推薦入試Ⅰ 5	若干名	若干名	—
		小計	200	143	20	推薦入試Ⅰ 37 推薦入試Ⅱ 25 12	—	—	—
	計	387	298	20	推薦入試Ⅰ 64 推薦入試Ⅱ 25 39	—	—	5	
合計	1,726	1,314	235	推薦入試Ⅰ 172 推薦入試Ⅱ 78 94	—	—	5		



【平成30年度】

学域・学類等	入学定員	募集人員							3学類 前期一 括入試 *の移 行人数	後期一 括入試 入学者 の移 行人数	
		一般入試			推薦入試	帰国 子女 入試	国際 バカロ レア 入試	AO 入試			
		前期日程	後期 日程	後期一括 入試							
人間社会学域	人文学類	145	100	32	—	若干名	若干名	—	—	13	
	法学類	170	115 L方式 70 M方式 45	30	推薦入試Ⅱ	10	若干名	若干名	—	15	
	経済学類	135	110	—	推薦入試Ⅰ	10	若干名	若干名	—	15	
	学校教育学類	100	64	—	文系 62 推薦入試Ⅱ 石川県教員希望枠 専修枠 国語・社会科・英語教育専修 数学・理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家政教育専修 特別支援教育専修	34 8 26 3 3 4 3 5 3 3	—	若干名	—	2	
	地域創造学類	90	55	10	推薦入試Ⅱ 福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース	15 15 15 15	若干名	若干名	—	10	
	国際学類	85	48	15	推薦入試Ⅰ	15	若干名	若干名	—	7	
	計	725	492	87	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ	84 25 59	—	—	—	62	
理工学域	数物科学類	84	64	12	—	若干名	若干名	—	—	8	
	物質化学類	81	55	18	—	若干名	若干名	—	—	8	
	機械工学類	100	252	—	—	若干名	若干名	—	90	10	
	フロンティア工学類 (仮称)	110	(3学類 前期一括 入試*)	—	—	若干名	若干名	—	90	20	
	電子情報通信学類 (仮称)	80	—	—	—	若干名	若干名	—	72	8	
	地球社会基盤学類 (仮称)	100	78	12	—	若干名	若干名	—	—	10	
	生命理工学類 (仮称)	59	50	—	—	若干名	若干名	—	—	9	
	計	614	499	42	—	—	—	—	—	73	
医薬保健学域	医学類(6年制)	107	84	—	理系 82 推薦入試Ⅱ 一般枠 特別枠	22 15 7	若干名	—	—	1	
	薬学類(6年制)	35	64	—	—	—	若干名	若干名	3	—	
	創薬科学類	40	—	—	—	—	—	—	6	2	
	保健学類	看護学専攻	80	55	9	推薦入試Ⅰ	15	若干名	若干名	—	1
		放射線技術科学専攻	40	29	5	推薦入試Ⅱ	5	若干名	若干名	—	1
		検査技術科学専攻	40	29	3	推薦入試Ⅱ	6	若干名	若干名	—	2
		理学療法専攻	20	15	—	推薦入試Ⅱ	4	若干名	若干名	—	1
		作業療法専攻	20	14	—	推薦入試Ⅰ	5	若干名	若干名	—	1
		小計	200	142	17	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ	35 20 15	—	—	—	6
	計	382	290	17	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ	57 20 37	—	—	9	9	
合計	1,721	1,281	146	144 推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ	141 45 96	—	—	9	252	144	

*「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試」の略称

3 教科・科目等について

①「文系後期一括，理系後期一括」入試で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点は以下のとおりです。

【「文系後期一括」入試】

		選抜方法等と配点									
		教科	科目名等								
科目等	センター試験	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	(「国語」) (「世界史B」，「日本史B」，「地理B」から1) (「現代社会」，「倫理」，「政治・経済」，「倫理，政治・経済」から1) (「数学Ⅰ・数学A」)と(「数学Ⅱ・数学B」) (「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2) 又は (「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1) (「英語」)								から2～4 (注1)
	個別学力検査等	その他	総合問題 (英文を含む場合があります)								
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	総合問題	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	※200(100×2) (注2)					200			400	
	個別学力検査等						300		300		
	計	200					200	300		700	

注1：{「国語」，「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」}から2教科を選択します。{「国語」，「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」}から3科目となるのは，「数学」2科目もしくは「理科」の基礎を付した科目2科目と他教科の1科目の場合のみです。また，「国語」，「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」から4科目となるのは「数学」2科目と「理科」の基礎を付した科目2科目の場合のみです。

注2：配点に※印を付してある教科は，選択教科を表します。(以下同じ)

【「理系後期一括」入試】

		選抜方法等と配点									
		教科	科目名等								
科目等	センター試験	数学 外国語	(「数学Ⅰ・数学A」)と(「数学Ⅱ・数学B」) (「英語」)								[2教科3科目]
	個別学力検査等	理科	「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から1								
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	総合問題	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験					100	100			200	
	個別学力検査等				300					300	
	計				300	100	100			500	

② 大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について

大学入試センター試験の外国語「英語」について下記のとおり外部試験のスコアの提出を認めます。外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

以下の表に○で示す試験区分においては、外部試験のスコアの提出を認め、GTEC-CBT: 820～1100, TOEFL-iBT: 45～68, TEAP: 246～304, IELTS (アカデミック・モジュール) バンド 3.0～6.0 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、外部試験のスコアに応じて与えます。GTEC-CBT: 1100 以上, TOEFL-iBT: 68 以上, TEAP: 304 以上, IELTS (アカデミック・モジュール) バンド 6.0 以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。

以下の表に*で示す医学類の推薦入試Ⅱにおいては、外部試験のスコアの提出を認め、CEFR のC1 相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます (C1 相当以上のスコアとは、GTEC-CBT: 1400, TOEFL-iBT: 95-120, IELTS: 7.0 以上, TEAP: 400 に相当します)。選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等 (調査書、推薦書、志願理由書、上記の外部試験のスコア) を総合して行います。ただし、外部試験の受験は出願資格ではありません。

<上記の外部試験のスコアの提出を認める試験区分> ○と*は外部試験のスコアの提出を認める試験区分です。

学 域	学 類	前期日程	後期日程	推薦入試Ⅱ	AO入試
人間社会学域	人文学類	○	○	—	—
	法学類			○	
	経済学類	○	—	—	
	学校教育学類	○		○	
	地域創造学類	○	○	○	
	国際学類	○	○	—	
理工学域	数物科学類		○	—	—
	物質化学類		○		
	機械工学類		—		
	フロンティア工学類 (仮称)		—		
	電子情報通信学類 (仮称)		—		
	地球社会基盤学類 (仮称)		○		
医薬保健学域	医学類		—	*	
	薬学類・創薬科学類			—	○
	保健学類	○	○	○	
文系後期一括, 理系後期一括		—	○	—	—

(注) — は募集しない試験区分、空欄は外部試験を利用しない試験区分です。

③ 人間社会学域法学類の一般入試（前期日程L方式）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
個別学力検査等	300					300			600	
合計	500	200		100	200	500			1500	



【変更後（平成30年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
個別学力検査等	300					300			600	
合計	500	200		100	200	550			1550	

④ 人間社会学域法学類の一般入試（前期日程M方式）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
個別学力検査等					300	300			600	
合計	200	200		100	500	500			1500	



【変更後（平成30年度）】

配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
個別学力検査等					300	300			600	
合計	200	200		100	500	550			1550	

⑤ 人間社会学域法学類の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
	個別学力 検査等							600		600
	合 計	200	200		100	200	200	600		1500



【変更後（平成30年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
	個別学力 検査等							600		600
	合 計	200	200		100	200	250	600		1550

⑥ 人間社会学域法学類の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	100	※100 (100×1)			100	100			400
	個別学力 検査等							400		400
	合 計	100	100			100	100	400		800



【変更後（平成30年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター 試験	100	※100 (100×1)			100	125			425
	個別学力 検査等							400		400
	合 計	100	100			100	125	400		825

- ⑦ 人間社会学域経済学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

科目等	個別学力検査等	国語	「国語総合」							
		数学 外国語	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」, 「ドイツ語」から1							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
	個別学力検査等	200				200	200			600
	計	400	200		100	400	400			1500



【変更後（平成30年度）】

科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
	個別学力検査等					300	300			600
	計	200	200		100	500	550			1550

⑧ 人間社会学域学校教育学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

	教科	科目等名
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から2 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】, 【5教科8科目】, 【6教科7科目】又は【6教科8科目】
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (注2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

	教科	科目名等
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から1又は2) } から2 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1) } (注1) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】, 【5教科8科目】, 【6教科7科目】又は【6教科8科目】
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (注3) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注3：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑨ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試Ⅱの「石川県教員希望枠」の推薦要件及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を以下のとおりとします。

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにふさわしい資質・適性について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 卒業後、石川県内の学校園に教員として勤務する強い意志を持つ者	
※ 学校教育学類「石川県教員希望枠」の入学後の各専修への配属は、一般入試と同様に2年進級時に決定します。	

選抜方法等と配点										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。なお、本学類が課す大学入試センター試験の成績（500点満点）の得点が概ね375点（75%）以上を合格の基準とします。										
		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）							
		公 民	（（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」）から1							
		数 学	（「数学I・数学A」と							
		理 科	（「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）							
		外 国 語	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）							
			又は							
			（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）							
			（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			[5教科6科目]又は[5教科7科目]							
	個別学力検査等	その他	面接							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500
	個別学力検査等							300		300
	計	100	100		100	100	100		300	800

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

- ⑩ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試Ⅱの専修枠「国語・社会科・英語教育専修」の推薦要件の変更及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を以下のとおりとします。

【変更前（平成29年度）】（国語教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにあつては資質・適正について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>

【変更前（平成29年度）】（社会科教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>

【変更前（平成29年度）】（英語教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>



【変更後（平成30年度）】（国語・社会科・英語教育専修）

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき2名以内とします。</p>

選抜方法等と配点										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。										
		教科	科目名等							
科目等	センター試験	国語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2）							
		公民	（（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1）から2）							
		数学	（「数学I・数学A」と）							
		理科	（「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注2）							
		外国語	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）							
			又は							
			（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）							
			（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕							
科目等	個別学力検査等	その他	面接							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		100	100	200			800
	個別学力検査等							300		300
	計	200	200		100	100	200		300	1100

注1：『「地理歴史」「公民』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑩ 人間社会学域学校教育学類の推薦入試Ⅱの専修枠「数学・理科教育専修」の推薦要件の変更及びセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を以下のとおりとします。

【変更前（平成29年度）】（数学教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

【変更前（平成29年度）】（理科教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

【変更後（平成30年度）】（数学・理科教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

選抜方法等と配点	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）							
		公 民	（（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」）から1）							
		数 学	（「数学I・数学A」と （「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）							
		理 科	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）と （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）（注2） 又は （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2）							
		外 国 語	（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			【5教科7科目】又は【5教科8科目】							
	個別学力 検査等	その他	面接							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		200	200	100			700
	個別学力 検査等							300		300
	計	100	100		200	200	100		300	1000

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：「理科」のうち「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせて選択することはできません。

⑫ 人間社会学域学校教育学類 特別支援教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「特別支援教育専修」に変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

選 抜 方 法 等	
1.	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2.	選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。
3.	配点
	小論文 400点
	面 接 200点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1.	次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
(1)	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2)	通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者
(3)	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者
2.	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの
3.	合格した場合、入学することを確約できる者
4.	推薦は、1校につき2名以内とします。

選 抜 方 法 等																																									
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教 科</th> <th>科 目 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">科 目 等</td> <td>センター試験</td> <td> 国 語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公 民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数 学 (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) 理 科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外 国 語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科6科目]又は[5教科7科目] </td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td>その他 面接</td> </tr> </tbody> </table>	教 科	科 目 名 等	科 目 等	センター試験	国 語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公 民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数 学 (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) 理 科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外 国 語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科6科目]又は[5教科7科目]	個別学力検査等	その他 面接																																	
教 科	科 目 名 等																																								
科 目 等	センター試験	国 語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公 民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数 学 (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) 理 科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外 国 語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科6科目]又は[5教科7科目]																																							
	個別学力検査等	その他 面接																																							
配 点	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>理科</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接・口述試験</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>100</td> <td colspan="2">※100 (100×1)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100</td> <td colspan="2">100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>300</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500	個別学力検査等								300	300	計	100	100		100	100	100		300	800
	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計																																
センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500																																
個別学力検査等								300	300																																
計	100	100		100	100	100		300	800																																

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑬ 人間社会学域学校教育学類 美術教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「美術教育専修」に変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から3のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、実技、小論文、面接（作品提出を含む）の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	
3. 配点	
実 技	50点
小論文	30点
面 接	20点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から3のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	

選 抜 方 法 等											
選抜は、大学入試センター試験の成績、実技、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。											
		教 科	科 目 名 等								
科 目 等	センター試験	国 語	〔「国語」〕								から1
		外 国 語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕								
		地 理 歴 史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								から1
		公 民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」〕								
		数 学	〔「数学Ⅰ・数学A」と 〔「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1〕（注1） 〔「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2〕 又は 〔「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1〕								から1又は2 （注2）
		理 科									
			〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕								
配 点	センター試験	個別学力検査等	その他	実技、面接（作品提出を含む）							
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	実技	面接・口述試験	配点合計	
		※200	※200(200×1)				※200			400	
								400	200	600	
	計	※200	200				※200	400	200	1000	

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：『「地理歴史」「公民」，「数学」，「理科」から2科目となるのは「数学」2科目を選択した場合と「理科」の基礎を付した科目2科目を選択した場合のみです。

⑭ 人間社会学域学校教育学類 保健体育専修及び家政教育専修の推薦入試Ⅱを専修枠「保健体育専修」及び「家政教育専修」として大学入試センター試験の課す科目を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

	教科	科目名等
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 （「国語」） （「世界史B」，「日本史B」，「地理B」） } から2 （「倫理，政治・経済」） （「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から1）（注1） （「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2） 又は （「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1） （「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1） 【5教科7科目】，【5教科8科目】，【6教科7科目】又は【6教科8科目】
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 （「国語」） （「世界史B」，「日本史B」，「地理B」） } から1 （「倫理，政治・経済」） （「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から1）（注1） （「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2）と （「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1）（注2） 又は （「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2） （「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1） 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について，同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

	教科	科目名等
センター試験	パターンA	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2) (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1) } から2 (注1) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目]又は[6教科8科目]
	パターンB	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (注3) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目]又は[5教科8科目]

注1：『「地理歴史」「公民』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注3：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑮ 人間社会学域地域創造学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目及び配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		教 科		科 目 名 等							
センター試験	パターンA	国語	(「国語」)	(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から2 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目]又は[6教科8科目]							
		地理歴史 公民 数学 理科 外国語									
	パターンB	国語	(「国語」)	(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 (「倫理, 政治・経済」) (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2)と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (注2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1) [5教科7科目]又は[5教科8科目]							
		地理歴史 公民 数学 理科 外国語									
配点		パターン	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	パターンA	200	※200 (100×2)		100	200	200			900
		パターンB	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
		個別学力検査等	※200				※200	※200			400
	計	パターンA 国・数選択 (個別)	400	200		100	400	200			1300
		パターンA 国・外選択 (個別)	400	200		100	200	400			
		パターンA 数・外選択 (個別)	200	200		100	400	400			
		パターンB 国・数選択 (個別)	400	100		200	400	200			
パターンB 国・外選択 (個別)		400	100		200	200	400				
パターンB 数・外選択 (個別)		200	100		200	400	400				

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

		教 科		科 目 名 等							
センター試験	パターンA	国語	(「国語」) (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) } から2 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } (注1) (「数学I・数学A」) と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目]又は[6教科8科目]								
		地理歴史									
	公民										
	数学										
	理科										
	外国語										
	パターンB	国語	(「国語」) (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) } から1 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } (「数学I・数学A」) と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1) (注2) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1) (注3) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1) [5教科7科目]又は[5教科8科目]								
		地理歴史									
		公民									
		数学									
		理科									
		外国語									
配点	センター試験	パターン	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		パターンA	200	※200 (100×2)		100	200	250			950
		パターンB	200	※100 (100×1)		200	200	250			950
	個別学力検査等		※200				※200	※200			400
	計	パターンA 国・数選択 (個別)	400	200		100	400	250			1350
		パターンA 国・外選択 (個別)	400	200		100	200	450			
		パターンA 数・外選択 (個別)	200	200		100	400	450			
		パターンB 国・数選択 (個別)	400	100		200	400	250			
		パターンB 国・外選択 (個別)	400	100		200	200	450			
		パターンB 数・外選択 (個別)	200	100		200	400	450			

注1：パターンAの（「地理歴史」及び「公民」）から2科目選択について、同一名称を含む科目（例えば「地理A」と「地理B」、
「倫理」と「倫理, 政治・経済」）を組み合わせることはできません。

注2：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注3：パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑯ 人間社会学域地域創造学類の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

	教科	科目名等	
センター試験	国語	(「国語」)	から2又は3 (注2)
	地理歴史	(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)	
	公民	(「倫理, 政治・経済」)	
	数学	(「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1)	
	理科	(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1)	
	外国語	(「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)	
【2教科2科目】又は【2教科3科目】			

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：大学入試センター試験において、{「国語」, 『「地理歴史」「公民』, 「数学」, 「理科」, 「外国語」} から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。



【変更後（平成30年度）】

	教科	科目名等	
センター試験	国語	(「国語」)	から2又は3 (注2)
	地理歴史	(「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」)	
	公民	(「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」)	
	数学	(「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1)	
	理科	(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1)	
	外国語	(「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)	
【2教科2科目】又は【2教科3科目】			

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：大学入試センター試験において、{「国語」, 『「地理歴史」「公民』, 「数学」, 「理科」, 「外国語」} から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

⑰ 人間社会学域地域創造学類 福祉マネジメントコースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。	
3. 配点	
小論文	100点
面接	100点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等											
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。											
		教 科	科 目 名 等								
科 目 等	センター試験	国 語	(「国語」) (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) 「英語」								} から1
		地 理 歴 史									
公 民											
外 国 語											
	個別学力検査等	その他	面接								[3教科3科目]
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	200	※100 (100×1)				200			500	
	個別学力検査等							500	500		
	計	200	100				200		500	1000	

⑱ 人間社会学域地域創造学類 環境共生コースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。	
3. 配点	
小論文	100点
面接	100点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。	

		教 科	科 目 名 等								
科 目 等	センター試験	国 語	〔国語〕								
		地理歴史	〔世界史A〕,〔世界史B〕,〔日本史A〕,〔日本史B〕,〔地理A〕,〔地理B〕から1)								
		公 民	〔現代社会〕,〔倫理〕,〔政治・経済〕,〔倫理,政治・経済〕から1)								
		数 学	〔数学Ⅰ・数学A〕,〔数学Ⅱ・数学B〕,〔簿記・会計〕,〔情報関係基礎〕から1) (注1)								
		理 科	〔物理基礎〕,〔化学基礎〕,〔生物基礎〕,〔地学基礎〕から2)								
			又は 〔物理〕,〔化学〕,〔生物〕,〔地学〕から1)								
		外 国 語	〔英語〕,〔ドイツ語〕,〔フランス語〕,〔中国語〕,〔韓国語〕から1)								
		〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕									
	個別学力検査等	その他	面接								
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	※200(100×2)								200	
	個別学力検査等							400	400		
	計	200								400	600

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2：大学入試センター試験において、{「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」}から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

⑰ 人間社会学域国際学類の推薦入試Ⅰの選抜方法を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験—TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT のいずれかのスコア
3. 第1次選考結果は、本人あて通知します。
4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。
5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験—TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT, TEAP のいずれかのスコア
3. 第1次選考結果は、本人あて通知します。
4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。
5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。

⑱ 人間社会学域国際学類の帰国子女入試の選抜方法を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験—TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT のいずれかのスコア
3. 第1次選考結果は、本人あて通知します。
4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。
5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験—TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT, TEAP のいずれかのスコア
3. 第1次選考結果は、本人あて通知します。
4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。
5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。

② 理工学域の一般入試（前期日程，後期日程）で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点は次のとおりです。

【数物科学類】

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・口述試験	配点合計
前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物理, 化基・化学から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	—	センター試験	200	*100 (100X1)		200	200	200			900	帰国子女 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充
						個別学力検査等				450	350	100			900	
						計	200	100		650	550	300			1800	
後期 (個別) 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物理	—	センター試験	200	*100 (100X1)		200	200	200			900	
						個別学力検査等				300	300			600		
						計	200	100		500	500	200			1500	

* 選択教科

【物質化学類】

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・口述試験	配点合計
前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 化基・化学 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	—	センター試験	200	*100 (100 x 1)		200	200	200			900	帰国子女 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充
						個別学力検査等				400	400	400			1200	
						計	200	100		600	600	600			2100	
後期 (個別) 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	理	化基・化学	—	センター試験	50	*50 (50 x 1)		100	100	100			400	
						個別学力検査等					400			400		
						計	50	50		100	500	100			800	

* 選択教科

【機械工学類】、【フロンティア工学類】(仮称)、【電子情報通信学類】(仮称)

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・口述試験	配点合計
前期 (3学類 前期一括 ※) 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物理 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	—	センター試験	200	* 100 (100 × 1)		200	200	200			900	帰国子女 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充
						個別学力検査等				500	400	400			1300	
						計	200	100		700	600	600			2200	
後期 (個別) 3月12日		実施しない			—	センター試験										
						個別学力検査等										
						計										

※「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試」の略称

* 選択教科

【地球社会基盤学類】(仮称)

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・口述試験	配点
前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	—	センター試験	100	* 100 (100 × 1)		250	250	200			900	帰国子女 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充
						個別学力検査等				300	300	300			900	
						計	100	100		550	550	500			1800	
後期 (個別) 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	—	センター試験	50	* 50 (50 × 1)		200	200	200			700	
						個別学力検査等				300				300		
						計	50	50		500	200	200			1000	

* 選択教科

【生命理工学類】(仮称)

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の選抜方法等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・口述試験
前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	—	センター試験	200	* 100 (100×1)		200	200	200			900
						個別学力検査等				300	300	300			900
						計	200	100	500	500	500			1800	
後期 (個別) 3月12日		実施しない			—	センター試験									
						個別学力検査等									
						計									

* 選択教科

【留意事項】

1. 教科, 科目名は, 次のとおりカッコ内の語を略記しています。

- 国語・・・国(国語)
- 地理歴史・・・地歴(地理歴史), 世B(世界史B), 日B(日本史B)
- 公民・・・現社(現代社会), 倫(倫理), 政経(政治・経済), 倫・政経(倫理, 政治・経済)
- 数学・・・数(数学), 数Ⅰ(数学Ⅰ), 数Ⅱ(数学Ⅱ), 数Ⅲ(数学Ⅲ), 数A(数学A), 数B(数学B), 簿(簿記・会計), 情報(情報関係基礎)
- 理科・・・理(理科), 物基(物理基礎), 化基(化学基礎), 生基(生物基礎), 地基(地学基礎)
- 外国語・・・外(外国語), 英(英語), コ英Ⅱ(コミュニケーション英語Ⅱ), コ英Ⅲ(コミュニケーション英語Ⅲ), 英表Ⅰ(英語表現Ⅰ), 英表Ⅱ(英語表現Ⅱ), 独(ドイツ語), 仏(フランス語), 中(中国語), 韓(韓国語)

2. 大学入試センター試験の「数学」のうち, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

② 理工学域の国際バカロレア入試の出願資格及び選抜方法は下記のとおりです。

出願資格	<p>次の(1)～(3)のいずれにも該当する者又は平成30年(2018年)3月までに該当する見込みの者</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者若しくは平成30年(2018年)3月31日までに授与される見込みの者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの 国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、平成30年(2018年)3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。</p> <p>(2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者</p> <p>① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者</p> <p>② 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者</p> <table border="1" data-bbox="359 548 1444 1160"> <thead> <tr> <th>学域</th> <th>学類</th> <th>指定する科目等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">理工学域</td> <td>数物科学類</td> <td>数学(HL成績評価4以上)及び物理(HL成績評価4以上), 又は 数学(HL成績評価4以上)及び化学(HL成績評価4以上)</td> </tr> <tr> <td>物質化学類</td> <td>数学(HL成績評価4以上) 化学(HL成績評価4以上)</td> </tr> <tr> <td>機械工学類・ フロンティア工学類(仮称)・ 電子情報通信学類(仮称)</td> <td>数学(HL成績評価4以上) 物理(HL成績評価4以上) ※機械工学類・フロンティア工学類(仮称)・電子情報通信学類(仮称)の3学類で一括選抜を行います。</td> </tr> <tr> <td>地球社会基盤学類(仮称)</td> <td>数学(HL成績評価4以上)及び物理(HL成績評価4以上), 又は 数学(HL成績評価4以上)及び化学(HL成績評価4以上)</td> </tr> <tr> <td>生命理工学類(仮称)</td> <td>数学(HL成績評価4以上) 物理, 化学, 生物から1科目(HL成績評価4以上)</td> </tr> </tbody> </table> <p>HLはHIGHER LEVELを表す。</p> <p>(3) 本学での勉学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者</p>	学域	学類	指定する科目等	理工学域	数物科学類	数学(HL成績評価4以上)及び物理(HL成績評価4以上), 又は 数学(HL成績評価4以上)及び化学(HL成績評価4以上)	物質化学類	数学(HL成績評価4以上) 化学(HL成績評価4以上)	機械工学類・ フロンティア工学類(仮称)・ 電子情報通信学類(仮称)	数学(HL成績評価4以上) 物理(HL成績評価4以上) ※機械工学類・フロンティア工学類(仮称)・電子情報通信学類(仮称)の3学類で一括選抜を行います。	地球社会基盤学類(仮称)	数学(HL成績評価4以上)及び物理(HL成績評価4以上), 又は 数学(HL成績評価4以上)及び化学(HL成績評価4以上)	生命理工学類(仮称)	数学(HL成績評価4以上) 物理, 化学, 生物から1科目(HL成績評価4以上)
学域	学類	指定する科目等													
理工学域	数物科学類	数学(HL成績評価4以上)及び物理(HL成績評価4以上), 又は 数学(HL成績評価4以上)及び化学(HL成績評価4以上)													
	物質化学類	数学(HL成績評価4以上) 化学(HL成績評価4以上)													
	機械工学類・ フロンティア工学類(仮称)・ 電子情報通信学類(仮称)	数学(HL成績評価4以上) 物理(HL成績評価4以上) ※機械工学類・フロンティア工学類(仮称)・電子情報通信学類(仮称)の3学類で一括選抜を行います。													
	地球社会基盤学類(仮称)	数学(HL成績評価4以上)及び物理(HL成績評価4以上), 又は 数学(HL成績評価4以上)及び化学(HL成績評価4以上)													
	生命理工学類(仮称)	数学(HL成績評価4以上) 物理, 化学, 生物から1科目(HL成績評価4以上)													
選抜方法	<p>(1) 大学入試センター及び個別学力検査を免除します。</p> <p>(2) 選抜は、提出書類等及び面接・口述試験の結果により総合して行います。</p>														

㊸ 理工学域の帰国子女入試の選抜方法は下記のとおりです。

学 類	選抜方法
数物科学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 4. 配点：数 学 450点 面 接 450点
物質化学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（化学基礎・化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点
機械工学類・ フロンティア工学類（仮称）・ 電子情報通信学類（仮称）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械工学類・フロンティア工学類（仮称）・電子情報通信学類（仮称）の3学類で一括選抜を行います。 2. 大学入試センター試験を免除します。 3. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 4. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 5. 配点：数 学 500点 理 科 400点 外国語 400点
地球社会基盤学類（仮称）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学 から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点

学 類	選抜方法
生命理工学類 (仮称)	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 4. 配点：数 学 200 点 理 科 150 点 外国語 150 点

㊤ 理工学域の私費外国人留学生入試の選抜日程等を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

選 抜 日 程 等	
<出願時期>	平成29年1月17日～20日
<選抜期日>	平成29年2月26日
<合格者発表>	平成29年3月7日
<入学手続>	平成29年3月27日まで



【変更後（平成30年度）】

選 抜 日 程 等		
<出願時期>	平成29年10月下旬	} 国際バカロレア入試と同日程 推薦入試Ⅰと 同日程
<選抜期日>	平成29年11月下旬	
<合格者発表>	平成29年12月上旬	
<入学手続>	平成30年2月上旬	

㊦ 医薬保健学域医学類の推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠（石川県枠・富山県枠）〕の推薦要件を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月に修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上（評定平均4.3以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの
3. 合格した場合、入学することを確約できる者



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月に修了又は修了見込みの者
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階（評定平均4.3以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの
3. 合格した場合、入学することを確約できる者

㊦ 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試について、下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

事 項	内 容																								
募 集 人 員	薬学類（6年制）と創薬科学類（4年制）の選抜は一括で募集します。																								
出 願 資 格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの																								
選 抜 方 法 等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、その他の書類により、書類選考を行います。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリングならびに大学入試センター試験により選考します。本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が概ね640点（80%）以上を合格の基準とし、レポートと口述試験の得点の高い者を合格者とします。 ①スクーリング 1日目：受講した演習実験又は課された実験課題などについて、レポートを課します。 2日目：1日目に提出されたレポートに基づいて、口述試験を実施します。数学・理科・英語などに対する勉学意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。 ②大学入試センター試験 大学入試センター試験で課す教科・科目名 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>国 語</td> <td>(国語)</td> <td>100 点</td> </tr> <tr> <td>地 理 歴 史</td> <td>(世界史B, 日本史B, 地理B)</td> <td rowspan="3">} から 1</td> </tr> <tr> <td>公 民</td> <td>(倫・政経)</td> <td>100 点</td> </tr> <tr> <td>数 学</td> <td>(数I・数A) と (数II・数B, 簿, 情報から1)</td> <td>200 点</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>(物理と化学)</td> <td>200 点</td> </tr> <tr> <td>外 国 語</td> <td>(英, 独, 仏, 中, 韓から1)</td> <td>200 点</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>合計 800 点</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>[5教科7科目]</td> </tr> </table> 4. 配点 レポート 100 点 口述試験 50 点	国 語	(国語)	100 点	地 理 歴 史	(世界史B, 日本史B, 地理B)	} から 1	公 民	(倫・政経)	100 点	数 学	(数I・数A) と (数II・数B, 簿, 情報から1)	200 点	理 科	(物理と化学)	200 点	外 国 語	(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	200 点			合計 800 点			[5教科7科目]
国 語	(国語)	100 点																							
地 理 歴 史	(世界史B, 日本史B, 地理B)	} から 1																							
公 民	(倫・政経)		100 点																						
数 学	(数I・数A) と (数II・数B, 簿, 情報から1)		200 点																						
理 科	(物理と化学)	200 点																							
外 国 語	(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	200 点																							
		合計 800 点																							
		[5教科7科目]																							
日 程 等	<出願時期> 10月中旬 <第1次選考結果発表> 11月上旬 <最終選考> 11月下旬 <大学入試センター試験> 1月中旬 <合格発表> 2月上旬																								



【変更後（平成30年度）】

事 項	内 容																														
募 集 人 員	薬学類（6年制）と創薬科学類（4年制）の選抜はそれぞれ分けて募集します。																														
出 願 資 格	<p>次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの 																														
出 願 要 件	<p>次のすべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学業成績が優秀で、人物的に優れ、大学入試センター試験（1000点満点）の得点が750点（75%）以上の者 2. 本学大学院（薬学専攻博士課程または創薬科学専攻博士後期課程）までの一貫した教育を受け、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者や創薬研究者を志す者 <p>※ 大学入試センター試験で課す教科・科目名と配点</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">国 語</td> <td style="width: 30%;">(国語)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">100 点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>(世界史B, 日本史B, 地理B)</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">から1 100 点</td> </tr> <tr> <td>公 民</td> <td>(倫・政経)</td> </tr> <tr> <td>数 学</td> <td>(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">300 点</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>(物理と化学)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200 点</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>(英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">300 点</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">合計 1000 点</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">[5 教科7 科目]</td> </tr> </table> <p>(注1) 英語外部試験のスコア利用を認めます。詳細については10ページ「3 教科科目等について②大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について」をご覧ください。</p>	国 語	(国語)		100 点	地理歴史	(世界史B, 日本史B, 地理B)	}	から1 100 点	公 民	(倫・政経)	数 学	(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)		300 点	理 科	(物理と化学)		200 点	外国語	(英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1)		300 点				合計 1000 点				[5 教科7 科目]
国 語	(国語)		100 点																												
地理歴史	(世界史B, 日本史B, 地理B)	}	から1 100 点																												
公 民	(倫・政経)																														
数 学	(数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)		300 点																												
理 科	(物理と化学)		200 点																												
外国語	(英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1)		300 点																												
			合計 1000 点																												
			[5 教科7 科目]																												
選 抜 方 法 等	<p>1. 選抜は、第1次選考及び第2次選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。</p> <p>2. 第1次選考 提出された調査書、その他の書類、大学入試センター試験の得点により、出願資格および出願要件を満たしているか評価し、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、募集人員の2倍程度になるよう選考します。</p> <p>3. 第2次選考 第1次選考の合格者に対し、小論文と面接による試験を実施し、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質、本質への探究心、本学における学修意欲等について多方面から評価します。</p> <p>※ 配点</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">小論文</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">50 点</td> </tr> <tr> <td>面 接</td> <td style="text-align: right;">100 点</td> </tr> </table>	小論文	50 点	面 接	100 点																										
小論文	50 点																														
面 接	100 点																														
日 程 等	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試センター試験： 1月中旬 ・出願時期： 1月中～下旬 ・第1次選考結果発表： 2月上旬 ・第2次選考： 2月上旬 ・合格発表： 2月上旬 																														

㊦ 医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200		200			400
	計	200	100		400	200	400			1300



【変更後（平成30年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」							
		理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」から1							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		400	200	200			1000
	個別学力検査等				200	200	200			600
	計	100	100		600	400	400			1600

㊧ 医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等							400		400
	計	200	100		200	200	200	400		1300



【変更後（平成30年度）】

配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		400	200	200			1000
	個別学力検査等							400		400
	計	100	100		400	200	200	400		1400

㊸ 医薬保健学域保健学類放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等								400	400
	計	200	100		200	200	200		400	1300



【変更後（平成30年度）】

		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	100	※100 (100×1)		400	200	200			1000
	個別学力検査等								400	400
	計	100	100		400	200	200		400	1400

㊹ 医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	理 科 外 国 語	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
	配点	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200		200			400
	計	200	100		400	200	400			1300



【変更後（平成30年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学 理 科 外 国 語	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
	配点	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
配点	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200	200	200			600
	計	200	100		400	400	400			1500

① 医薬保健学域保健学類理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに下記のとおり変更します。

【変更前（平成29年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。	
3. 配点	
面接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）	100点



【変更後（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。										
		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地 理 歴 史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）							
		公 民	（「倫理、政治・経済」）							
		数 学	（「数学Ⅰ・数学A」と （「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）							
		理 科	（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2）							
		外 国 語	（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			【5教科7科目】							
配 点	センター試験	個 別 学 力 検 査 等	面 接 （ 調 査 書 ， 推 薦 書 ， 志 願 理 由 書 を 含 む ）							
		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		200	※100 (100×1)		200	200	200			900
								600		600
	計	200	100		200	200	200	600		1500

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

㊿ 医薬保健学域保健学類の私費外国人留学生入試について選抜方法（実施教科・科目（学力検査等）及び配点等）を下記のとおり変更します。

1 看護学専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 小論文(100点) 、 面接(100点) 、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 学力検査 、 面接 、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。
3.	配点
	日本留学試験 500点
	TOEFL 200点
	面接 400点
	外国語（コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ） 200点
	理 科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 200点
	計 1,500点

2 放射線技術科学専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 小論文(100点) 、 面接(100点) 、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 学力検査 、 面接 、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。
3.	配点
	日本留学試験 850点
	TOEFL 120点
	面接 100点
	数 学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B） 200点
	理 科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 200点
	計 1,470点

3 検査技術科学専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 <u>小論文(100点)</u> 、面接(100点)、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	<u>出願条件</u> 日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること、ならびに、TOEFLにおいて、得点率が60%を超えていること。そのうえで、以下の試験を行います。
3.	選抜は、 <u>学力検査</u> 、面接の結果を総合して行います。
4.	配点
	<u>数 学</u> (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B) <u>200点</u>
	<u>理 科</u> (物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1) <u>200点</u>
	面 接 100点
	計 <u>500点</u>

4 理学療法学専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 <u>小論文(100点)</u> 、面接(<u>100点</u>)、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、日本留学試験、TOEFL、面接の結果を総合して行います。
3.	配点
	日本留学試験 <u>600点</u>
	TOEFL <u>200点</u>
	面 接 <u>200点</u>
	計 <u>1,000点</u>

5 作業療法学専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、 <u>小論文（100点）</u> 、面接 <u>（100点）</u> 、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法	
1.	大学入試センター試験を免除します。
2.	選抜は、日本留学試験、TOEFL、面接の結果を総合して行います。
3.	配点
日本留学試験	<u>600点</u>
TOEFL	<u>200点</u>
面 接	<u>200点</u>
計	<u>1,000点</u>